Panasonic

取扱説明書

小型ビューアー

品番 PJ-SJ25U

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(4 ～ 5 ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

はじめに

本機をパソコンで正しくお使いただくためには、以下の操作を行う必要があります。

正しくお使いいただくために（準　備）	本機を正しくお使いいただくための説明 はじめによくお読みください
	● 付属の CD-ROM からディスプレイドライバーをインストールする ※ 本機を使用するには、はじめにドライバーソフトのインストールが必要です

Windows® XP（Home Edition/Professional）
Windows® 7/Windows® 7 x64 Edition
（Ultimate/Professional/Home Premium）に対応

使　う	本機をパソコンに接続する
	● 付属 USB ケーブルで本機とパソコンを接続する（USB2.0 ポートが 2 つ必要です）

USB2.0 ポートを2つ以上搭載したパソコンに対応
（USB ハブ接続での動作は保証できません。）

- Microsoft とそのロゴ、Windows、Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Intel Core、インテルは、米国 Intel Corporation の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- その他の記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
  以降各社の、登録商標または商標の記号表記は省略します。

- 本書の記載内容は予告なしに変更される場合があります。

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください

はじめに

はじめに 2
安全上のご注意 4
使用許諾書 6
正しくお使いいただくために 7
本機の特長 8
付属品のご確認 9
本書の表記について 10

準　備

お使いいただく前に 11
各部のなまえとはたらき 12
セットアップする前に 14
本機をご使用いただくための手順とながれ 14
Windows のバージョンを確認する 15
付属のソフトウェアについて 16
セットアップする 17
付属の CD-ROM を光学ドライブにセットする 17
ディスプレイドライバーソフトのインストール 19
USB3.0 用ツールを使用する 23
パソコンとの接続／取り外し 25

使　う

使う 26
本機の基本動作 26
インジケーター機能について 28
表示モード（ディスプレイ表示の設定）を変更する 30
表示画面の解像度を変更する 33

必要なとき

お手入れ 37
故障かな !? と思ったら 38
こんな疑問や質問があったら 42
用語解説／補足説明 45
仕　様 48
保証とアフターサービス 49
さくいん 50

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 注意

分解や改造をしない

分解禁止

異物の混入などにより火災の原因になることがあります。

使用中は投影レンズをのぞかない

禁止

投影レンズからは、強い光が出ます。中を直接のぞくと目を痛める原因になることがあります。

スポンジマットなどの柔らかい面の上で使用しない

禁止

内部に熱がこもり、本機の故障、火災ややけどの原因になることがあります。

使用中は投影光を人に向けない

禁止

投影レンズからは、強い光が出ます。投影光を人に向けると目を痛める原因になることがあります。

⚠注意

本機の上に物を載せない

禁止

本機上部には吸気孔があります。吸気孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になることがあります。

付属の専用 USB ケーブルを使用する

付属の専用 USB ケーブル以外を使用すると、本機やパソコンなどの故障の原因になることがあります。

長時間直接触れて使用しない

禁止

温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※1 の原因になることがあります。

異常・故障時は専用 USB ケーブルを抜く

そのまま使用すると、火災の原因になることがあります。

- 煙が出ている
- 異臭がする
- 異常に熱い
- 内部に異物が入った
- 破損した

すぐに使用を中止し、販売店へご相談ください。

長時間通風孔(排気)からの温風にあたらない

禁止

低温やけど※1 の原因になることがあります。
また、通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、やけどなどの原因になります。

※1 血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けているとき)や皮膚感覚が弱い人(高齢者)などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

使用許諾書

第 1 条　権利
お客さまは、本ソフトウェア（付属のマニュアルや CD-ROM などに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、特許権、著作権またはその他一切の権利は弊社が所有するものであり、お客さまに移転するものではありません。

第 2 条　第三者の使用
お客さまは、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第 3 条　コピーの制限
本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）を目的とした 1 回に限定されます。

第 4 条　使用パソコン
本ソフトウェアは、本機の使用を条件とし、複数のパソコンへインストールすることができます。本機の使用を伴わない場合は使用できません。

第 5 条　解析、変更または改造
本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客さまの解析、変更または改造により、万一何らかの欠陥またはお客さまに対する損害が生じたとしても弊社および販売店などは一切の保証・責任を負いません。

第 6 条　アフターサービス
お客さまが使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話でお問い合わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

第 7 条　免責
本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第 6 条に限ります。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客さまの損害および第三者からのお客さまに対する請求については、弊社および販売店などに故意または重過失がない限り、弊社および販売店などはその責任を負いません。

第 8 条　合意管轄
本ソフトウェアの使用に関して、訴訟の必要が生じた場合、お客さまおよび弊社は弊社の本社所在地を管轄する裁判所に対してのみ訴えを提起することができるものとします。

第 9 条　準拠法
本ソフトウェアの使用はあらゆる面において日本国の法律に支配され、かつそれに従って解釈されるものとします。

第 10 条　輸出管理
お客さまが本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、国内外の輸出管理に関連する法規を順守してください。

正しくお使いいただくために

使用／保管に適した環境

■平らで衝撃、振動、落下のおそれがない安定した場所

落下すると、本体に衝撃が加わり誤動作や故障の原因になります。

■使用時の環境

温度：5 ℃ ～ 35 ℃
湿度：20 % RH ～ 80 % RH
（結露なきこと）

■保管時の環境

温度：－ 10 ℃ ～ 50 ℃
湿度：20 % RH ～ 80 % RH
（結露なきこと）

上記の範囲内であっても、本機の近くでの喫煙や、油を使用する場所、ほこりの多い場所、ノートパソコンの排気口、暖房器や加湿器などの近くでのご使用は、製品の故障や劣化などにより製品寿命が短くなるおそれがあります。

■熱のこもらない環境

- 保温性の高いところ（ゴムやスポンジマット、布団の上など）での使用は避け、スチール製の事務机など放熱性が優れた場所でお使いください。
- 放熱の妨げとなりますので、タオルやソフトケースなどで覆わずにお使いください。

パソコンへの接続

パソコン本体、本機、ケーブルなどの故障を防ぐため、次の点に注意してください。

■コネクターの形状、向きに注意して、正しく接続してください。

■接続しにくい場合は無理に差し込まず、もう一度コネクターの形状、向きなどを確認してください。

■ケーブルの抜き差しはプラグを持って行い、ケーブルを強く引っ張ったりしないでください。

持ち運ぶとき

本機の故障などを防ぐため、次の点に注意してください。

■スタンドやカバーは必ず閉じてください。

■投影レンズには傷や汚れが付かないようにしてください。

■ケーブルや三脚を取り付けたまま持ち運んだりしないでください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本機の特長

■ワイシャツの胸ポケットにも収まる軽量コンパクト設計

- 重さ　110 g
- 大きさ　102 (W)× 60 (L)× 22 (H) mm

■実用的なレベルの画像サイズと明るさを実現

- 画像サイズ　10 ～ 60 inch（インチ）
- 投影距離　0.37 ～ 2.22 m
- 対応解像度　854 × 480 ～ 1366×768 ドット
- 明るさ　最大 50 ルーメン（3段階調節）
- コントラスト　1000：1

■USB バスパワー動作で外部電源不要

- 専用 USB ケーブルの使用で USB バスパワーで動作
- 一般的な USB2.0 で動作
  （パソコンの USB 電源供給能力によっては、正常に動作しない場合があります。）

対応パソコン環境について

本機を使用するには、下記のパソコン環境が必要です。

対応パソコン＊1	USB2.0 ポートを2つ以上搭載した Windows パソコン
対応 OS＊2	●Windows XP（Home Edition / Professional） ●Windows 7/ Windows 7 x64 Edition （Ultimate / Professional / Home Premium）
CPU/GPU	1.6 GHz (Single Core)以上の CPU を推奨 (動画などを投影するには、動画再生に適した GPU などが必要です。Intel Atom プロセッサーのチップセット統合型グラフィックス GMA500 では動作できません。)
メモリー	各 OS の推奨メモリー容量以上
ディスプレイ表示	WVGA（854 × 480 ドット）／ 16 ビット色　以上
光学ドライブ	CD-ROM が読める光学ドライブが必要 （ドライバーインストール、CD-ROM 使用時）

＊1 パソコンが USB2.0 に対応している必要があります。パソコンが USB2.0 に対応していない場合(USB1.1 または 3.0 専用)は、動作保証はできません。

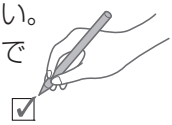
＊2 Windows XP については、Service Pack 3 以上が必要です。Windows 7 については、Service Pack 1 以上が必要です。Windows Vista には対応していません。

注意事項

- 上記の動作環境においても、使用される動画再生などのアプリケーションやコンテンツによっては、著作権保護により正常に投影されない場合があります。

付属品のご確認

ご使用いただくまえに、次のものがそろっているか確認してください。
万一不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店まで
ご連絡ください。



付属品

☐ **専用 USB ケーブル**

（品番：PKWLPSJ25U）

☐ **三脚用スペーサー**

（品番：PKZSPSJ25U）

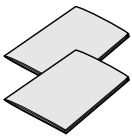
☐ **CD-ROM**

・ディスプレイドライバー
・USB3.0 用ツール
・本書（PDF 版 電子マニュアル）

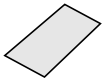
（品番：PKWGPSJ25U）

取扱説明書

☐ **セットアップ編**
☐ **操作編**



☐ **保証書**



- 付属品を開封前に、必ず「使用許諾書」（☞ 6 ページ）をお読みください。
- イラストは現物と一部異なる場合があります。
- 付属品の内容は予告なく変更される場合があります。

本書の表記について

本書では、特にことわり書きのない場合、以下のように表記しています。

- ■ ことわりがない限り Windows XP、Windows 7 を総称して「Windows」と表記し、Windows 7 の操作表現で記載しています。
- ■ 手順や画面表示は、「コンピューターの管理者の権限」でログオンした場合の内容で説明しています。標準ユーザーのアカウントで実行できない場合は、「コンピューターの管理者の権限」でログオンして操作してください。
- ■ 専用 USB ケーブルを総称して「USB ケーブル」と表記しています。
- ■ CD/DVD/BD ドライブを総称して「光学ドライブ」と表記しています。
- ■ アイコン、ボタン、フォルダ などにポインタを合わせ、マウスの左ボタンを押して離す操作を「クリック」、クリックを素早く 2 回行うことを「ダブルクリック」と表記しています。
- ■ マウスの右ボタンを押して離す操作を「右クリック」と表記しています。
- ■ アイコン、フォルダなどにポインタを合わせ、マウスのボタンを押したまま移動し、目的の位置で離す操作を、「ドラッグ& ドロップ」と表記しています。
- ■ アイコン、フォルダなどにポインタを合わせ、マウスのボタンを押したまま移動する操作を、「ドラッグ」と表記しています。
- ■ アイコンや画像などにポインタを合わせてクリックしシステム認識状態にすることを「選択する」または、「選ぶ」と表記しています。
- ■ ダイアログボックスなどのチェックボックス、オプションボタン(ラジオボタン)にポインタを合わせてクリックし、チェックされた状態にすることを「チェックする」、「チェックを付ける」と表記し、チェックされていない状態にすることを「クリアする」または、「チェックを外す」と表記しています。
- ■ 複数のキーを押して操作することを、[O キー]+[X キー]または、以下のような図記号で表記しています。

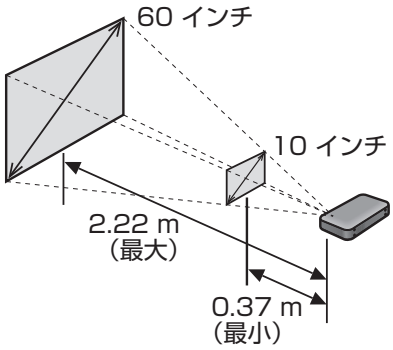
  表記例： CTRL + V

- ■ 守っていただきたい内容は「お願い」、気をつけていただきたい内容は「お知らせ」として表記しています。

- 本書の内容に関しては、事前に予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
- 本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

Windows XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating system または Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system です。(以下 Windows XP)

Windows 7 の正式名称は、Microsoft® Windows® 7 Ultimate operating system、Microsoft® Windows® 7 Professional operating system または Microsoft® Windows® 7 Premium operating system です。(以下 Windows 7)

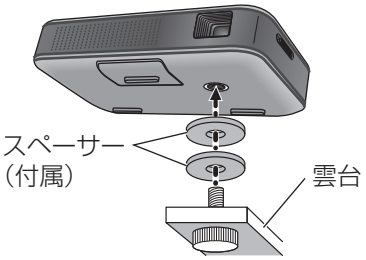


設置と投影サイズ

本機での投影サイズと設置距離は、左図のようになります。設置は保温性の高いところ（ゴムやスポンジマット、布団の上など）での使用は避け、スチール製の事務机など放熱性が優れた、平らで安定した場所でお使いください。

三脚に取り付ける場合

本機と三脚の雲台の間に、付属のスペーサーを入れ、雲台に付いている固定ネジを回して、しっかり固定してください。
固定ネジの長さに合わせてスペーサーの枚数を変えてください。



文字がにじんだりぼやける場合

表示画面の解像度が本機の DLP の解像度よりも大きくなると、自動的に本機の DLP の解像度に合うように画面が変更されて表示されます。このため、文字がにじんだりぼやけるようになりますが、故障ではありません。
文字をにじんだりぼやけずに表示させたいときは、パソコンの表示解像度を変更してお試しください。
（☞ 33 ページ）

重要なお知らせ

- お客さまの使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療機器、生命維持装置、その他人命にかかわる機器／装置／システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器／装置／システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療診断目的などで画像を表示することを意図しておりません。

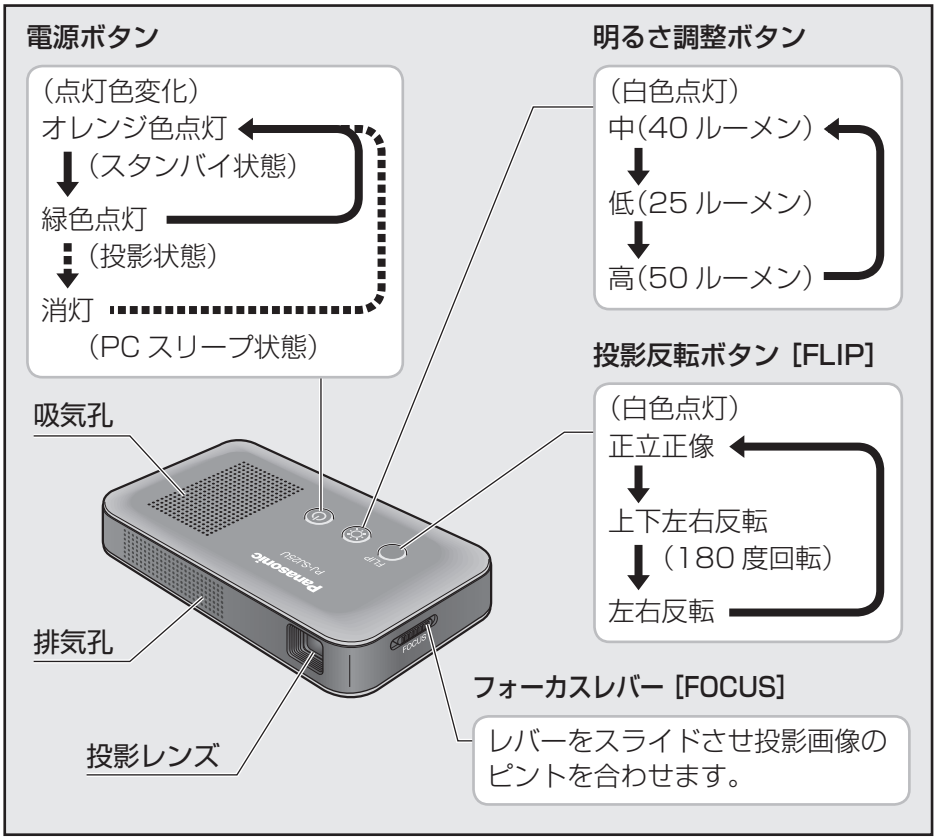
廃棄処理について

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報
この記号はヨーロッパ連合内でのみ有効です。
本製品を廃棄したい場合は、日本国内の法律等に従って廃棄処理をしてください。

各部のなまえとはたらき

前面／天面／右側面

■各ボタンを押すことで本機の動作モードを切り換えます。



お願い

- **本機使用時は吸気孔や排気孔をふさがないでください。**
  （吸気孔や排気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となる場合があります。）

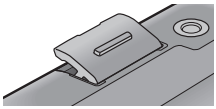
お知らせ

- 本機通電時は明るさ調整ボタン／投影反転ボタンは通常白色点灯します。
- 各ボタン（電源ボタン／明るさ調整ボタン／投影反転ボタン）の点灯表示で、本機の各種動作モードを表示します。（☞ 28 ページ）

背面／裏面／左側面

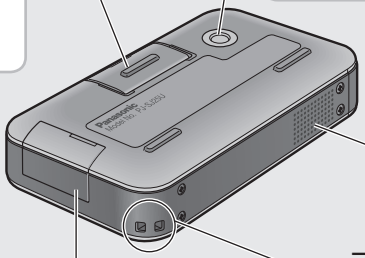
スタンド

スタンドを開くと約 5 度上向きに投影できます。



三脚取付部

必要に応じて付属の三脚用スペーサーをご使用ください。
(☞ 11 ページ)



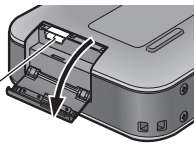
排気孔

ストラップ取付部

インターフェースカバー [I/F]

I/F カバーを開くとUSB コネクターがあります。

USB コネクター



お願い

- **本機を三脚に取り付けて使用する場合**
  三脚によっては固定ネジが長いものがあります。ネジが長い場合は無理に締め付けないで、本機付属の三脚用スペーサーを間に入れてネジを締めてください。
  （無理に締めると故障や破損の原因となる場合があります。）

セットアップする前に

本機をご使用いただくための手順とながれ

お願い

- Windows XP / Windows 7 にインストールする場合は、必ず管理者権限(Administrator)のあるユーザーでログオンして、インストールしてください。

準備

	参照ページ
セットアップする前に	
●OS(Windows)のバージョンを確認する	15
●パソコンの対応USBを確認する	8
↓	
ドライブに CD-ROM をセットする	
ドライブに付属の CD-ROM をセットする	17
↓	
ドライバーのインストール	
ディスプレイドライバーをインストールする ※ インストール後にパソコンの再起動が必要です。	19
↓	
本機をパソコンに接続する	
本機をパソコンに接続する	25
↓	
USB 3.0用ツールの設定	
USB3.0用ツールを使用する ※ パソコンによっては、タスクバーにUSB3.0への接続を施すバルーンが表示される場合があります。「USB3.0バルーン表示停止ツール」でバルーン表示の表示／非表示を設定できます。	23

操作方法の表現は、特に OS 表記がない場合、Windows 7 の表現に合わせています。OS が異なる場合は、ご使用の OS 表現に読み替えてください。

Windows のバージョンを確認する

ご使用パソコンの Windows のバージョンを確認します。

タスクバーから[スタート]をクリックし、[マイコンピュータ]または[コンピューター]を右クリックして[プロパティ]をクリックすると、Windows のバージョンが表示されます。

以下の表示があることを確認してください。

OS	表示内容
Windows XP	Windows XP Professional Version 2002 Service Pack3 Windows XP Home Edition Version 2002 Service Pack3
Windows 7	Windows 7 Ultimate 32 ビットまたは 64 ビットオペレーティングシステム Service Pack1 Windows 7 Professional 32 ビットまたは 64 ビットオペレーティングシステム Service Pack1 Windows 7 Home Premium 32 ビットまたは 64 ビットオペレーティングシステム Service Pack1

お知らせ

- 本機は Windows Vista には対応していません。
- 本機は Windows XP の 64 ビット版には対応していません。

付属のソフトウェアについて

本製品には、以下のソフトが付属されています。（本 CD-ROM に収録）

ディスプレイドライバーソフト

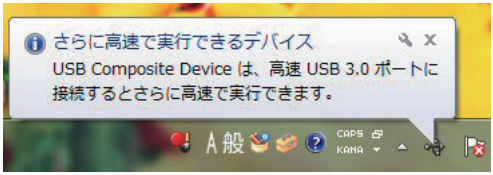
ディスプレイドライバーソフトは本機を使用するのに必要なソフトです。
本機をパソコンに接続する前に、必ずインストールしてください。

「DisplayLink Graphics Adapter Driver」は本機のディスプレイドライバーソフトです。
パソコンに競合するドライバーがある場合は、インストールする前にドライバーの削除が必要となる場合があります。（ドライバーのインストール時に自動的に確認されます。）

USB3.0 用ツール

必要に応じて実行してください。

USB3.0 対応パソコンの USB ポートに本機を接続したとき、タスクバー（画面右下）に下記のバルーン表示が出る場合があります。
「USB3.0 バルーン表示停止ツール」を実行すると、バルーン表示の表示／非表示を設定することができます。



お知らせ

- **USB3.0 対応の USB ポートについて**
  USB3.0 対応ポートのコネクターは内部が“青色”になっています。
  （USB2.0 以下に対応した USB ポートは通常“黒色”です。）
  USB3.0 専用の B タイプ USB ポート以外の USB3.0 対応ポート（A タイプ）では、USB2.0 での接続動作が可能です。（USB2.0 の動作速度になります。）
  USB3.0 動作には、USB3.0 に対応した機器と USB ケーブルが必要です。

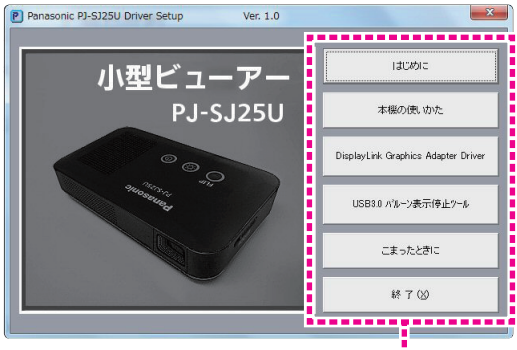
※本機は、USB2.0 での動作となります。

付属の CD-ROM を光学ドライブにセットする

本機付属の CD-ROM を光学ドライブにセットしてください。
下記のメニュー画面が表示されます。

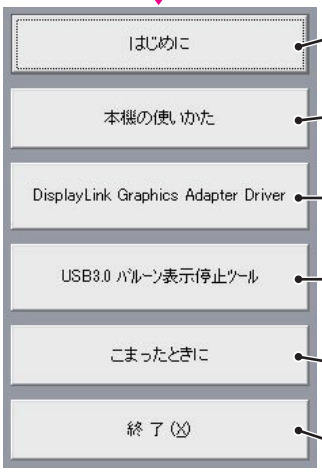
CD-ROM が自動起動しメニュー画面が表示される

メニュー画面にある各ボタンをクリックすると、ソフトのインストールや PDF 版の取扱説明書などを見ることができます。



お知らせ

- Windows へのドライバーソフトのインストールやツールの使用は、必ず管理者権限(Administrator)のあるユーザー名でログオンして実行してください。



はじめに	はじめにお読みください
本機の使いかた	PDF 版の取扱説明書(本書)です (Adobe Reader が必要です)
DisplayLink Graphics Adapter Driver	本機用のドライバーソフトです 本機を接続する前に必ずインストールしてください
USB3.0 バルーン表示停止ツール	USB3.0 用ツールです 必要に応じて実行してください
こまったときに	本機のサポートホームページに接続します (インターネットの接続環境が必要です)
終了(X)	メニューを終了します

CD-ROM が自動起動しメニューが表示されない場合

下記の[自動再生]画面が表示されてメニュー画面が表示されない場合は、以下の操作をしてください。

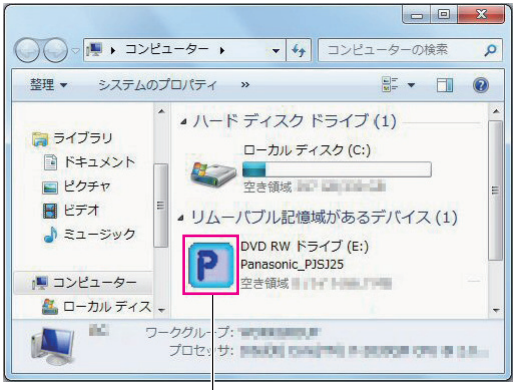
① [Enter]を押す

CD-ROM が自動起動しない場合

CD-ROM が自動起動しない場合は、以下の操作をしてください。

① ⊞ + E を押す

「コンピューター」または「マイコンピュータ」が開きます。



CD-ROM アイコン

② 光学ドライブの CD-ROM アイコンをダブルクリックする

ディスプレイドライバーソフトのインストール

本機をご使用いただくには、ドライバーソフトのインストールが必要です。
（本 CD-ROM に収録）

お願い

- 本機を接続する前に、必ず本機のドライバーソフトをインストールしてください。

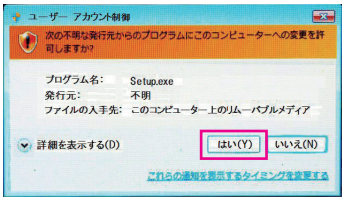
お知らせ

- Windows へのドライバーソフトのインストールは、必ず管理者権限（Administrator）のあるユーザー名でログオンして実行してください。
- パソコンに競合するドライバーソフトがある場合は、ドライバーの削除が必要となる場合があります。（ドライバーのインストール時に自動的に確認されます。）
- ドライバーソフトのインストール中は、一時的にパソコンの画面が暗くなったり、点滅する場合があります。

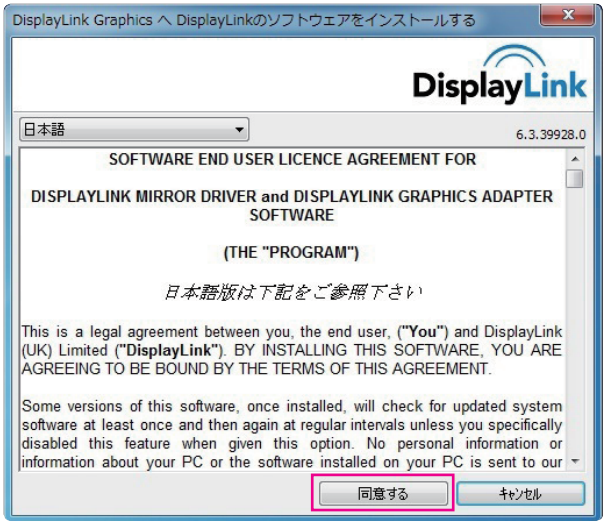
競合ドライバーがない場合

1 メニュー画面の[DisplayLink Graphics Adapter Driver]をクリックする

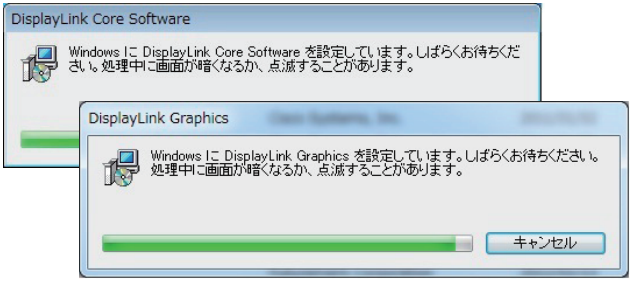
パソコンによっては、[ユーザーアカウント制御]の画面が表示される場合があります。
表示されたら[はい(Y)]をクリックしてください。



2 「エンドユーザー使用許諾契約書」が表示されるので、内容を確認し、[同意する]をクリックする



インストーラーが起動してドライバーソフトがインストールされます。



インストーラー画面が消えれば終了です。

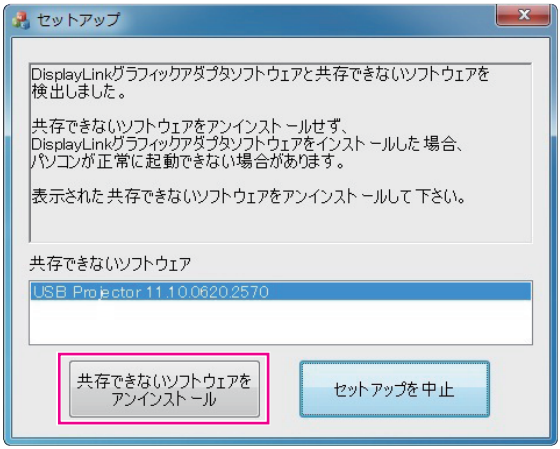
競合ドライバーがある場合

パソコンに競合するドライバーがある場合は、ドライバーの削除が必要となる場合があります。（ドライバーのインストール時に自動的に確認されます。）

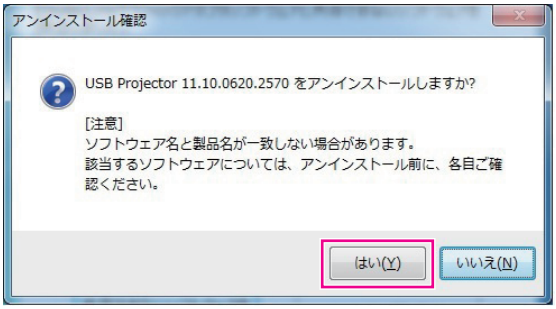
1 **メニュー画面の[DisplayLink Graphics Adapter Driver]をクリックする**

パソコンによっては、[ユーザーアカウント制御]の画面が表示される場合がありますが、そのままインストールの許可を行ってください。（☞ 19 ページ）

2 **[セットアップ]画面で“共存できないソフトウェアを検出しました”と表示されたら、[共存できないソフトウェアをアンインストール]をクリックする**



3 **[アンインストール確認]画面が表示されるので、[はい(Y)]をクリックする**

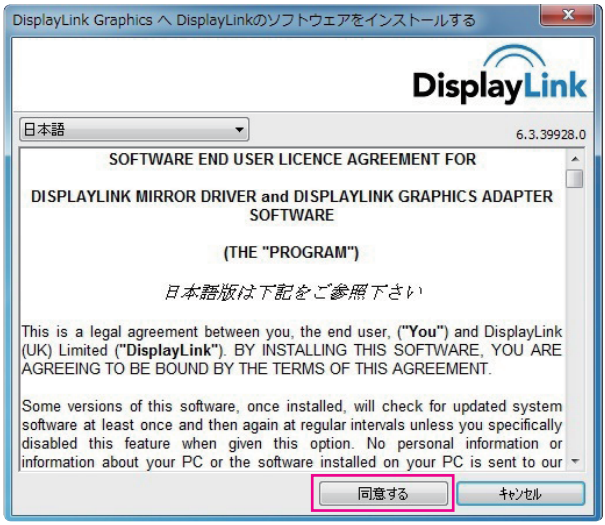


アンインストールが開始されます。

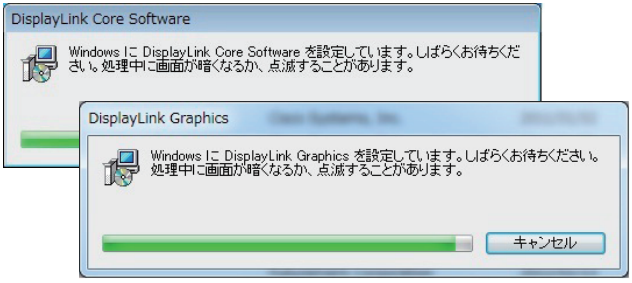
4 **アンインストール終了後に、「再起動の確認画面」が表示されたら「再起動」を実行する**

パソコンによってはアンインストールが終わっても「再起動の確認画面」が出ない場合があります。「再起動の確認画面」が出ない場合は、[スタート]から再起動の手順を行ってください。

5 **再起動後に「エンドユーザー使用許諾契約書」が表示されるので、内容を確認し、[同意する]をクリックする**



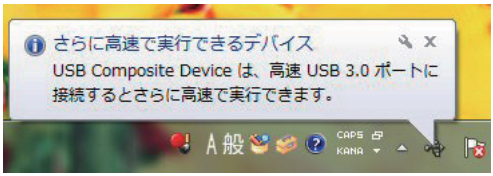
インストーラーが起動してドライバーソフトがインストールされます。



インストーラー画面が消えれば終了です。

USB3.0 用ツールを使用する

USB3.0 対応パソコンの USB ポートに本機を接続したとき、タスクバー（画面右下）に下記のバルーン表示が出る場合があります。
「USB3.0 バルーン表示停止ツール」を実行すると、バルーン表示の表示／非表示を設定することができます。

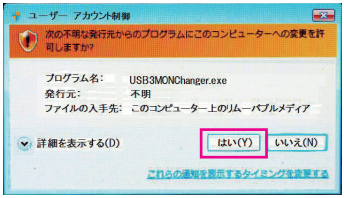


お知らせ

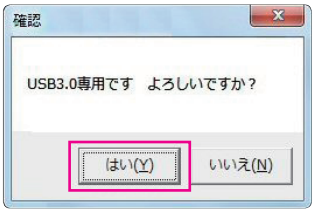
- Windows でのツールの使用は、必ず管理者権限（Administrator）のあるユーザー名でログオンして実行してください。
- バルーン表示を非表示設定にすると、他の USB 機器を接続してもバルーン表示が表示されなくなります。
- 本機をパソコンの USB3.0 ポートに接続しても、USB2.0 での動作となります。
- メニュー画面が表示されないときは、17 ～ 18 ページを参照してください。

1 メニュー画面の［USB3.0 バルーン表示停止ツール］をクリックする

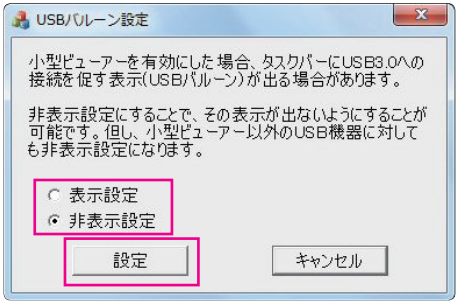
パソコンによっては、［ユーザーアカウント制御］の画面が表示される場合があります。
表示されたら［はい（Y）］をクリックしてください。



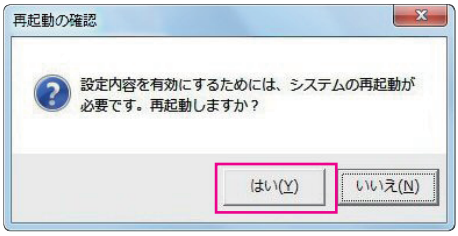
2 [確認]画面が表示されたら[はい(Y)]をクリックする



3 [USB バルーン設定]画面で[表示設定]または[非表示設定]をチェックし、「設定」をクリックする



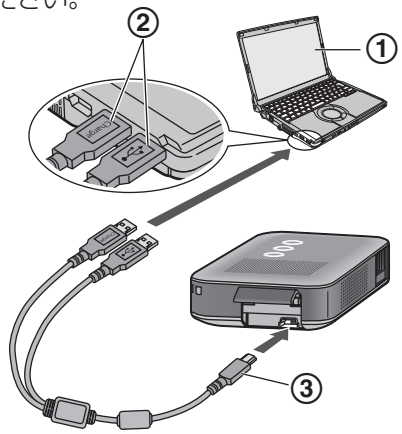
4 [再起動の確認]画面が表示されたら[はい(Y)]をクリックする



再起動したら終了です。

パソコンとの接続／取り外し

本機をパソコンに接続するときは、必ず付属の USB ケーブルをご使用ください。
パソコンのUSB ポートは２つ必要です。**ケーブルの接続は確実に行ってください。**
パソコンからの取り外しは投影を停止したあとで、取り付けと逆の順序で行ってください。



①パソコンを起動する

②付属の USB ケーブルのプラグ（大きい方）２個をパソコンの USB コネクターに差し込む

③付属の USB ケーブルのプラグ（小さい方）を、本機の USB コネクターに差し込む

お願い

- 本機付属の USB ケーブル以外は使用しないでください。（本機やパソコン本体の故障の原因となる場合があります。）
- 本機は、パソコンの USB コネクターに直接接続してください。（USB ハブ経由での動作は保証できません。）
- USB ケーブルを抜き差しすることで、本機の電源は自動的に入り／切りされます。
- 本機使用後（未使用時）は USB ケーブルを取り外してください。（本機未使用時でも電力を消費します。）
- 本機が、投影中（電源ボタンが緑色点灯）は、USB ケーブルを抜かないでください。（パソコンの操作ができなくなることがあります。操作ができなくなった場合は、パソコンの再起動やリセットを行ってください。）

お知らせ

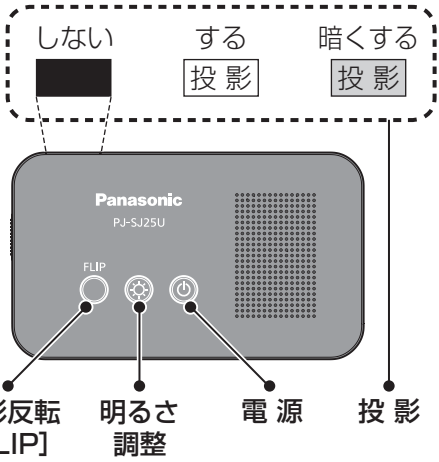
- パソコンに複数の USB ポートがある場合、ポートによっては USB 電源の供給能力に違いがある場合があります。
- 本機を使用される際は、本機単独での使用をお勧めします。
- パソコンが本機を認識する際に、パソコンの画面が暗くなったり、点滅する場合があります。
- 本機では Windows の一般的な USB 機器における“取り外し操作”は不要です。（本機は、タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックしても取り外し機器としては表示されません。）

本機の基本動作

本機の動作と操作についての説明です。

各ボタンと動作について

本機の上面(天面)にあるボタンと側面にあるレバーの説明です。



パソコンと接続されていないとき

消 灯　消 灯　消 灯

パソコンと接続されたとき
（電源が ON になり、スタンバイ状態になります。）

※本機の電源は、パソコン接続に連動して自動的に入／切されます。

白色点灯　白色点灯　オレンジ色点灯

電源ボタンを押す
（ボタンを押すと投影されます。もう一度押すと投影を中止し、スタンバイ状態になります。）

押す

投影しているとき
（投影中の電源ボタンは緑色に点灯します。）

白色点灯　白色点灯　**緑色点灯**　投 影

明るさ調整ボタンを押す
（ボタンを押すと明るさが変わります。）

押す

白色点灯　白色点灯　緑色点灯　投 影

投影の明るさ：**中**(はじめ)(40 ルーメン) → **低**(25 ルーメン) → **高**(50 ルーメン) → **中**(はじめ)(40 ルーメン)

	投影反転 [FLIP]	明るさ調整	電 源	投 影
投影反転ボタン[FLIP]を押す （ボタンを押すと投影画像の向きが変わります。）	押す			
		白色点灯	白色点灯	緑色点灯	投 影

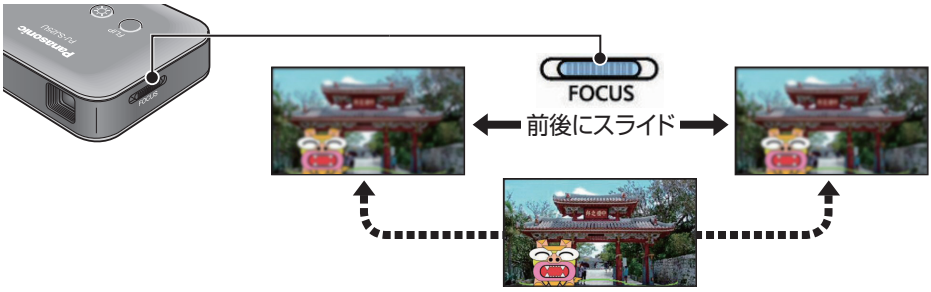
（天井などに投影するとき）

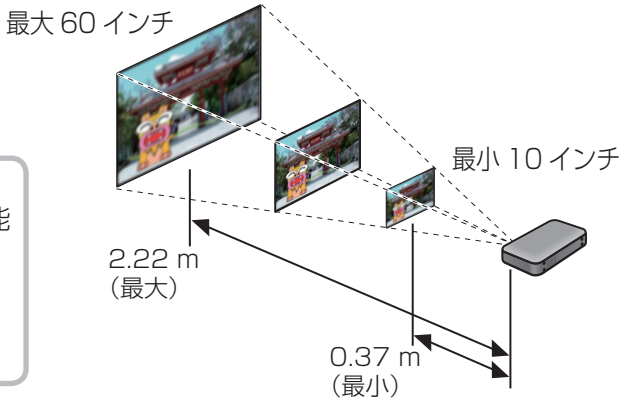
（半透過スクリーンに投影し、裏側から見るとき）

お願い
- 吸気孔と排気孔はふさがないでください。

フォーカスレバー[FOCUS]を前後にスライドさせる
（投影画像のピントを合わせます。）

	白色点灯	白色点灯	緑色点灯	投 影





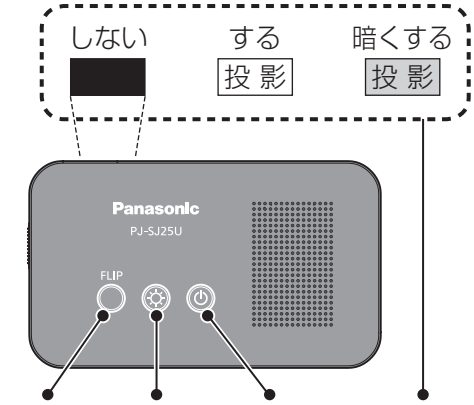
お知らせ
- 本機には台形補正機能はありません。
- 投影距離によってもピントの合う位置が変わります。

インジケーター機能について

本機の動作と表示についての説明です。

お知らせ

- 通常の動作状態に復帰するには、USB ケーブルを抜き差ししてください。



スリープ状態

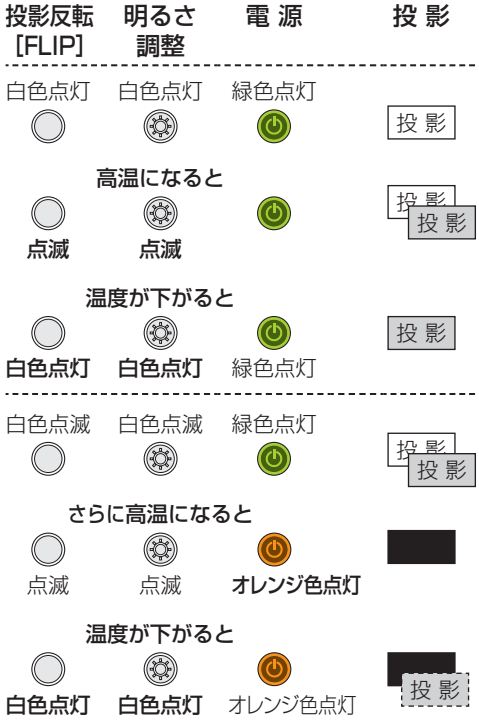
スタンバイ状態で約５分経過すると、スリープ状態（低消費電力化）に移行します。（パソコンがスリープ状態になると本機も連動します。）

電源ボタンを押すと、元のスタンバイ状態に復帰します。

バスパワー供給不足状態

USB バスパワーが供給不足の場合は電源ボタンが赤色点灯後、再起動しスタンバイ状態になります。

電源ボタンを押すと、自動的に明るさを下げて投影します。（この状態では前の明るさには設定できません。）



高温時の光量低下動作状態

内部が高温になったら、明るさ調整ボタンと投影反転ボタンが点滅し、自動的に明るさを下げます。（温度が下がるまで点滅します。）
温度が下がると点滅から点灯に変わります。（この状態では前の明るさには設定できません。）

高温保護（サーマルダウン）動作状態

内部温度がさらに上昇したら投影を停止、電源ボタンがオレンジ色点灯し、強制冷却を行います。
温度が下がると、明るさ調整ボタンと投影反転ボタンが点滅から点灯に変わります。
電源ボタンを押すと、投影停止前の明るさで投影します。（この状態では以前の明るさには設定できません。）

表示モード(ディスプレイ表示の設定)を変更する

■ 4 つの表示モードについて(2、3、4 はパソコンで設定変更します)

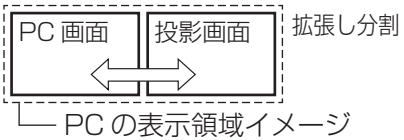
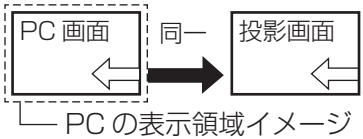
本機とパソコンは、付属の USB ケーブルで確実に接続してください。

お願い

- 本機接続時の表示モードを本機のみ(プロジェクターのみ)で使用される場合は、ノートパソコンのカバー(ディスプレイ)を閉じたり、スリープやスタンバイ状態にならない設定でご使用ください。

お知らせ

- 本機接続時の標準表示モードは「拡張」に設定されています。
  (パソコンの表示画面と同じものを投影するには「複製」に設定します。)
  用途に応じて表示モードを変更してください。
- 表示モード変更時にパソコンの画面や投影画面が暗くなったり、点滅する場合があります。
- パソコンによっては表示モード変更時に、表示画面の縦横比が変わる(図形などがゆがんで見える)場合があります。
- パソコンによっては設定変更後に再起動が必要な場合があります。

PC (パソコン)のみで表示	本機(プロジェクター)のみで表示
PC 画面のみの表示です (通常の使用モードです) **1**	PC 画面を消して本機のみで表示します **4**
●本機の標準設定モード **2** パソコンの**表示領域を横に拡張**し、PC 画面と本機で**分割して表示**します(本機の表示は拡張部分) 	PC 画面と同じ画面を本機でも表示します **3** 
拡張モード(PC と本機で別表示)	**複製モード(PC と本機で同一表示)**

Windows 7 の場合

1 ⊞ ＋ P を押す

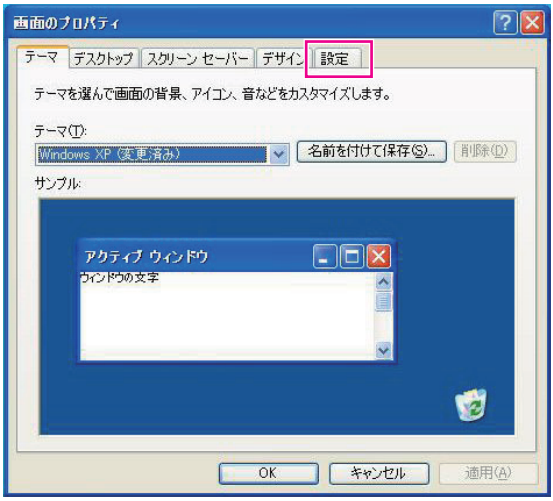
2 表示モードの選択画面で表示モードを選択(クリック)する

[矢印]キーで選択箇所を移動させ[ENTER]キーを押しても投影モードを変更できます。

Windows XP の場合

1 デスクトップ上の何もない部分で右クリックし、表示されたメニューから[プロパティ]をクリックする

2 [画面のプロパティ]画面が表示されたら、[設定]タブをクリックする

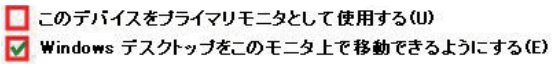


3 モニター番号をクリックし、「ディスプレイ(D)：」の表示が「DisplayLink Graphics Adapter 上の USB Projector」になっていることを確認する

ディスプレイ(D：)の表示部で「DisplayLink Graphics Adapter 上の USB Projector」を選択しても同じ設定になります。

4 モニターの表示選択チェックボックス(上下２つ)のチェックを変更する(モニターごとにチェック設定があります)

モニターの切り替えはモニター番号をクリックします。



●本機の標準設定は拡張モードです

	拡張モード	複製モード	本機(プロジェクター)のみ
モニター２ (本機の場合)	☐ なし ☑ 付ける	☐ なし ☐ 外す	☐ なし ☑ 付ける ① ☑ 付ける ☑ 有り
モニター１ (PC の場合)	☑ 有り ☑ 有り	☑ 有り ☑ 有り	☑ 有り ☑ 有り ② ☐ なし ☐ 外す

5 設定を変更したら[適用(A)]をクリックし(設定が反映されます)、[OK]をクリックする

表示画面の解像度を変更する

■ **本機の表示対応解像度は表示モードにより異なります。**
（詳しくは 48 ページをご覧ください。解像度はパソコンで設定変更します。）
本機とパソコンは、付属の USB ケーブルで確実に接続してください。

「拡張」モードで設定できる解像度
1366×768, 1280×800, 1280×720, 1024×768, 800×600, 854×480

「複製」モードで設定できる解像度
1366×768, 1360×768, 1280×800, 1280×720, 1024×768　他

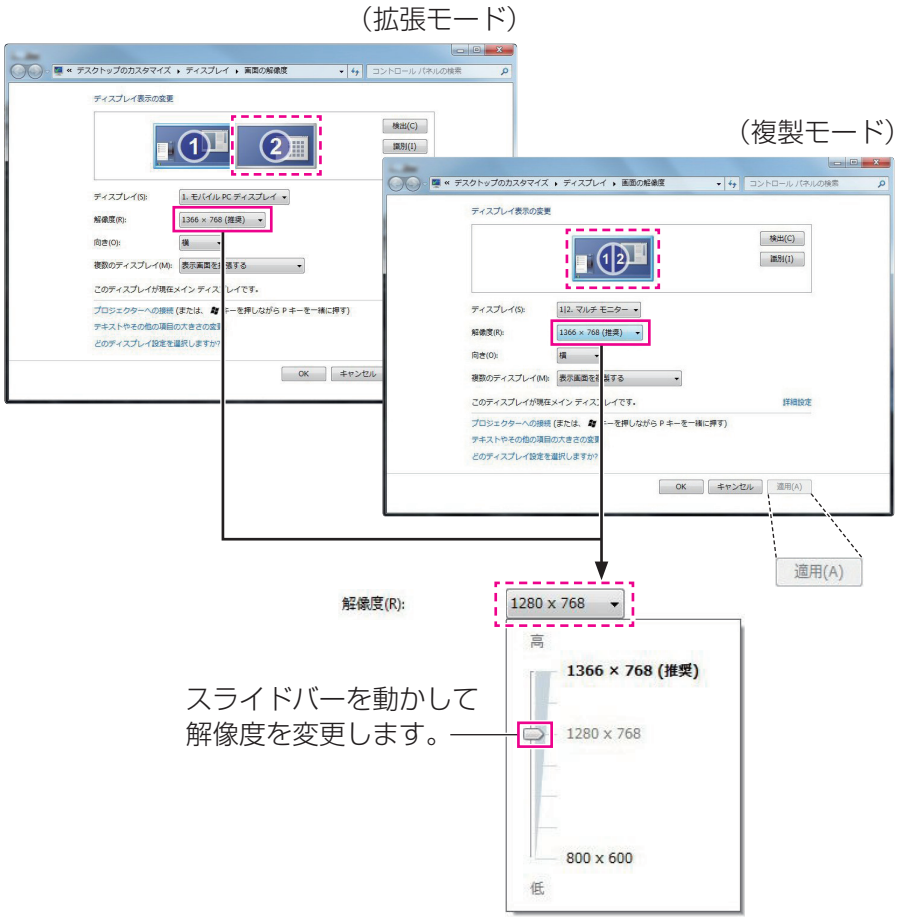
「プロジェクター（本機）のみ」のモードで設定できる解像度
1366×768, 1280×800, 1280×720, 1024×768, 800×600, 854×480

お知らせ
- 本機接続時の標準表示モードは「拡張」に設定されています。（パソコンの表示画面と同じものを投影するには「複製」に設定します。）用途に応じて表示モードや解像度を変更してください。
- 表示モードや解像度変更時にパソコンの画面や投影画面が暗くなったり、点滅する場合があります。
- パソコンによっては表示モードや解像度変更時に、表示画面の縦横比が変わる（図形などがゆがんで見える）場合があります。
- パソコンによっては設定変更後に再起動が必要な場合があります。
- パソコンによっては本機の表示解像度が、上記と異なる場合があります。

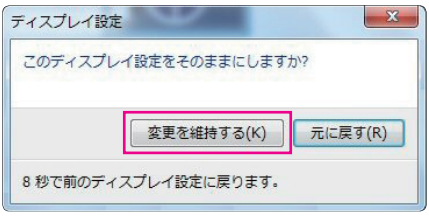
Windows 7 の場合

1 デスクトップ上の何もない部分で右クリックし、表示されたメニューから［画面の解像度］をクリックする

2 設定変更画面が表示されたら、変更するモニター番号を選択し、[解像度(R)]をクリックして解像度を変更する

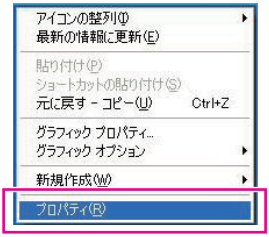


3 [適用(A)]をクリックし、[ディスプレイ設定]画面が表示されたら、[変更を維持する(K)]をクリックする

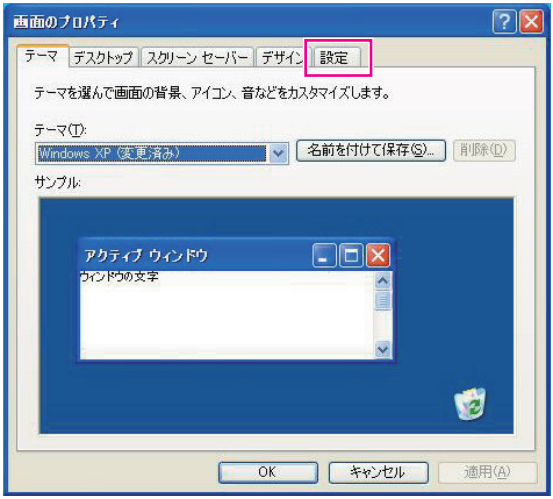


Windows XP の場合

1 デスクトップ上の何もない部分で右クリックし、
表示されたメニューから[プロパティ]をクリックする

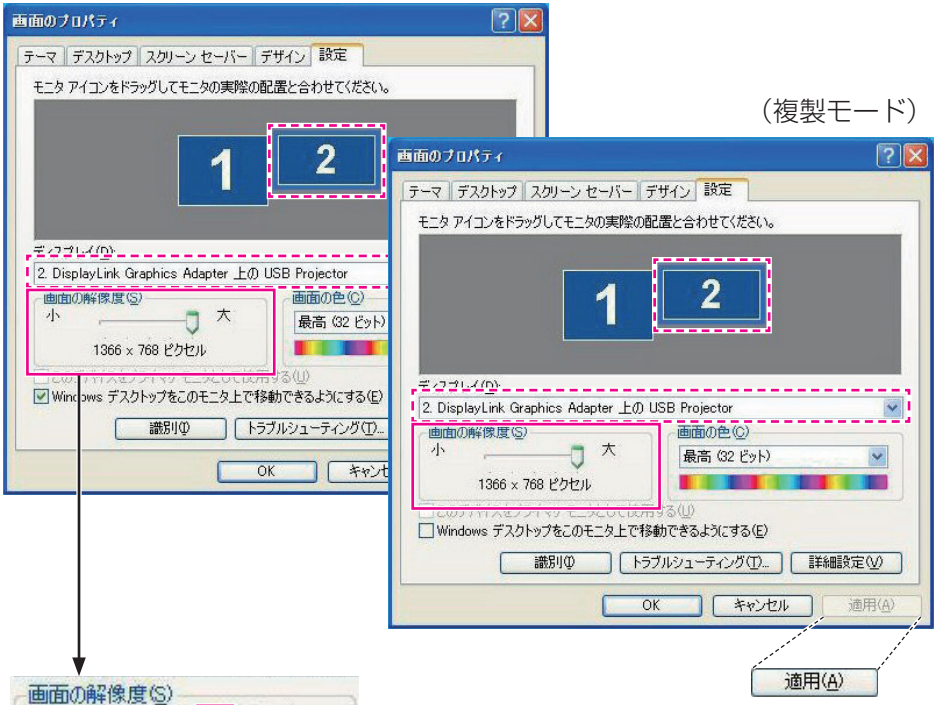


2 [画面のプロパティ]画面が表示されたら、
[設定]タブをクリックする



3 モニター番号をクリックし、「ディスプレイ(D)：」の表示が
変更対象のモニターであることを確認し、
[画面の解像度(S)]のレバーで解像度を変更する

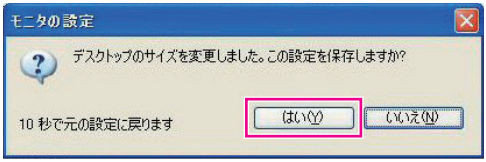
（拡張モード）



（複製モード）

スライドバーを動かして
解像度を変更します。

4 [適用(A)]をクリックし、[モニタの設定]画面が
表示されたら、[はい(Y)]をクリックする



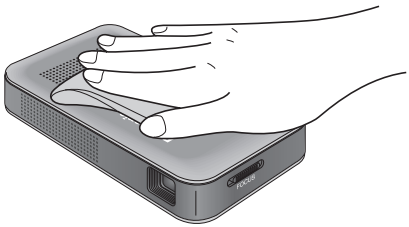
お手入れ

お願い

- 溶剤系クリーナー、静電防止スプレーや薬剤(ベンジン、シンナー、アルコールなど)は使わないでください。変形、変色の原因になります。

■本体表面が汚れていたら

柔らかい布でふいてください。



- 本体に汚れが付着した場合は、水または水で薄めた台所用中性洗剤に浸した、柔らかい布をかたく絞って軽く汚れをふき取ってください。
- 中性の台所用洗剤以外(弱アルカリ性洗剤やアルコールなど)を使用すると、塗装面に影響を与えることがあります。

■レンズが汚れていたら

- 投影レンズのお手入れは、カメラのレンズ用ブロワー(市販品)でお手入れしてください。
- 投影レンズには直接触れないでください。
  投影レンズを傷つけたり、レンズ駆動に影響を与えることがあります。

故障かな!? と思ったら

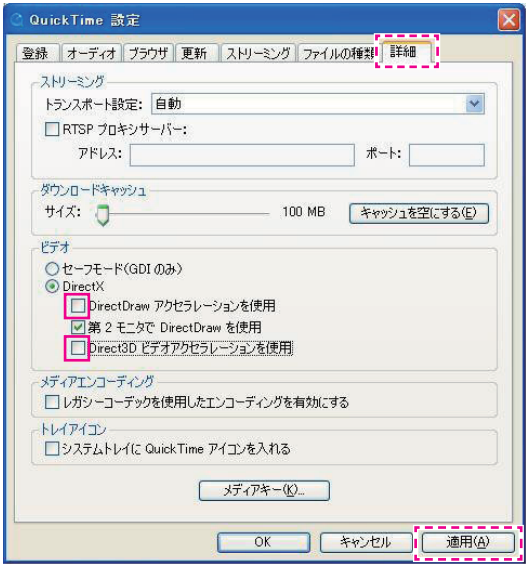
まず、次の表に従って確認してください。それでも直らないときは、「保証とアフターサービス」(☞ 49 ページ)をご参照ください。

こんなときには	ここをお調べください
1 本機がパソコンに認識されない、または正常に動作しない	**ケーブルが正しく接続されていますか？** 正しく接続されているかご確認ください。 ☞ 25 ページ
	パソコンへのセットアップを行いましたか？ パソコンのセットアップ(ドライバーのインストール)を行ってください。 ☞ 19 ページ
	ケーブルのピンが曲がったり、折れたりしていませんか？ お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにご相談ください。 ☞ 裏表紙
	スリープモードになっていませんか？ 電源ボタンを押してください。 ☞ 12 ページ
	使用 OS が合っていますか？ Windows Vista、Windows XP(SP3/64ビット版)では動作しません。 ☞ 15 ページ

(次ページに続きます。)

こんなときには	ここをお調べください
1 本機がパソコンに認識されない、または正常に動作しない	デバイスマネージャでドライバーが正しく組み込まれているか確認してください。 （OS によっては、表現が一部異なる場合がありますので、ご使用 OS の表現に読み替えてください。） **1 [スタート]→[マイコンピュータ]を右クリック→[プロパティ]を選択する** **2 [デバイスマネージャ]を選択する** インストール後、本機がパソコンに接続されると以下のように表示されます。 ●Windows 7 の場合 ●Windows XP の場合

こんなときには	ここをお調べください
2 画面が投影されない	電源ボタンがオレンジ色点灯になっていませんか？ 電源ボタンがオレンジ色点灯の場合、スタンバイモードです。電源ボタンを押して緑色点灯にし、投影モードにしてください。 ☞ 26 ページ
	電源ボタンがオレンジ色点灯、明るさ調整ボタンと投影反転ボタンが白色に点滅していませんか？ 高温保護（サーマルダウン）動作状態になっています。 ☞ 29 ページ
	電源ボタンが赤色に点灯したあと、再起動がかかりませんでしたか？ バスパワー供給不足状態になっています。 ☞ 28 ページ
3 明るさ調整で明るくならない	明るさ調整ボタンと投影反転ボタンが白色に点滅していませんか？ 高温時の光量低下動作状態になっています。 ☞ 29 ページ
4 本機が温かい	故障ではありません。 本機が異常に高温になる場合は、USB ケーブルを外し、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにご相談ください。 ☞ 裏表紙

こんなときには	ここをお調べください
5 QuickTime の再生で画面がフラッシュする	QuickTime の設定内のビデオアクセラレーションを使用しないよう設定してください。 **1** QuickTime の[編集]→[設定]→[QuickTime の設定]をクリックし、[QuickTime の設定]画面で[詳細]タブをクリックする **2** [ビデオ]の[DirectX]で[DirectDraw アクセラレーションを使用]と[Direct3D ビデオアクセラレーションを使用]のチェックを外す  **3** [適用(A)]をクリックする

こんな疑問や質問があったら

本機についての疑問は、「故障かな !? と思ったら」を先にお読みください。
（☞ 38 ～ 41 ページ）

Q 壁紙しか投影されないのですが？

A パソコンの初期状態は、「拡張」モードになっています。「複製」モードに変更してご使用ください。
☞ 30 ページ

Q 投影画像のピントが合わないのですが？

A 投影距離を確認し（0.37 ～ 2.22 m）、フォーカスレバーをスライドさせてピントを合わせてください。
☞ 27 ページ

Q スタンバイモードでしばらく放置していたら、すべてのボタンが消えたのですが？

A スリープモードになっています。
電源ボタンを押すことでスタンバイモードに復帰します。
☞ 12 ページ

Q 投影中に明るさが落ちたら？

A 本機の内部温度が高温になり、光量低下動作状態になっています。
本機から USB ケーブルを抜き、本機の内部温度が下がったら USB ケーブルを接続してください。
☞ 29 ページ

Q 電源ボタンが赤色点灯した後、再起動したら？

A パソコンの USB 電源供給能力が不足しています。電源ボタンを押すと低輝度で投影しますが、それでも電源ボタンが赤色に点灯した後、再起動する場合は使用できません。
☞ 28 ページ

Q 本機をパソコンに接続したら、パソコンの画面が点滅するのですが？

A パソコンが本機を認識する際に、パソコンの画面が暗くなったり、点滅する場合がありますが故障ではありません。

Q 投影画像が台形になるのですが？

A 本機は、台形補正機能を搭載していません。三脚などを使用して、設置高さや投影角度を調整してください。

Q ビデオ映像が投影されないのですが？

A プレイヤーソフトやコンテンツによっては「著作権保護」機能により映像が投影できない場合があります。

Q 動画の再生映像がスムーズな動きにならないのですが？

A パソコンの性能によっては、再生動画のビットレートが大きいと画像の再生がスムーズに行えない場合があります。

Q 再起動したら、表示モードが変わったのですが？

A 故障ではありません。
表示モードを再設定してください。

Q ノートパソコンのカバー(ディスプレイ)を開閉したら、表示モードが変わったのですが？

A 故障ではありません。
表示モードを再設定してください。

Q スタンバイ(休止)状態から復帰したら、表示モードが変わったのですが？

A 故障ではありません。
表示モードを再設定してください。

Q 画像が投影されなくなったのですが？

A USB ケーブルを抜き差しして、本機を再起動させてください。

Q 動画再生ソフトによっては映像が投影できないのですが？

A 本機は下記の動画再生ソフトに対応しています。
PowerDVD / WinDVD / RealPlayer / Windows Media Player / VLC Media Player
上記の動画再生ソフトをご使用ください。

用語解説／補足説明

BDMV	Blu-ray Disc Association が策定した BD 仕様のひとつです。映画など、主に家庭用ビデオソフトを Blu-ray Disc に記録する仕様で、再生地域ごとの著作権保護機能があります。
CPU	Central Processing Unit の略で、中央演算処理装置のことです。
Direct3D	Direct3D は DirectX に含まれる API のひとつで、三次元のグラフィックをレンダリングするために使用され、ハードウェアアクセラレーションをサポートするので高速での描画が可能です。
DirectDraw	DirectDraw は DirectX に含まれる API のひとつで、二次元のグラフィックをレンダリングするために使用されます。
DirectX/ Microsoft DirectX	Microsoft Corporation が開発したゲームやマルチメディア処理用のアプリケーションプログラミングインターフェース(API)の集合で、高品質の 3D グラフィックス表示などを実現しています。
DLP	DLP とは、デジタルミラーデバイス(DMD)を用いた映像表示システムのことで Digital Light Processing の略です。DLP は Texas Instruments Incorporated の登録商標です。
DVD-Video	DVD フォーラムによって規格化された、DVD 仕様のひとつです。映画など、主に家庭用ビデオソフトを DVD に記録したもので、再生地域ごとの著作権保護機能があります。
DXVA	DirectX Video Acceleration の略で DirectX の拡張機能のひとつで、ビデオ・コーデック(圧縮・伸張など)を、より速く処理するために、ハードウェアアクセラレーションを使用するインターフェースです。

GPU	Graphics Processing Unit の略で、画像処理を行う装置のことです。
HDCP	High-bandwidth Digital Content Protection の略で映像再生機器からディスプレイなどの表示機器に、デジタル信号を送受信する経路を暗号化する著作権保護技術のひとつです。
HDMI	High-Definition Multimedia Interface の略で、映像・音声をデジタル信号で伝送する、HDCP などの著作権保護機能を持った通信インターフェースの規格です。
OpenGL	Open Graphics Library の略で、二次元と三次元のグラフィックスが両方扱える、アプリケーションプログラミングインターフェースです。
USB	Universal Serial Bus の略で、各種の周辺機器とパソコンを接続するための業界標準規格です。
USB2.0	USB2.0 は、USB-IF（USB Implementers Forum）によって制定された、USB1.0/1.1 上位互換の高速な USB インターフェースです。データ転送は最大で USB1.1 の約 40 倍となります。
USB3.0	USB3.0 は、USB-IF（USB Implementers Forum）によって制定された、USB2.0 上位互換の高速な USB インターフェースで、データ転送は最大で USB2.0 の約 10 倍となり、電源供給能力も強化されています。
USB バスパワー	パソコンの USB ポートから供給される電源を使用して、周辺機器を動作させる方式のことです。

アスペクト比	表示画面の幅と高さの数値比率です。 画面アスペクト比とも呼びます。
解像度 （画面解像度 / 表示解像度）	画面を構成する総画素数を、解像度（画面解像度、表示解像度）と呼び、水平方向と垂直方向の画素数で表します。
拡張 / 拡張表示 / 拡張モード	パソコンの画面表示領域を拡張し、パソコンのモニターと２台目のディスプレイ（本機）に分けて画面を分割表示させる機能です。
コントラスト比	表示画面の白を表示したときの輝度と、黒を表示したときの輝度の比率です。
複製 / 複製表示 / 複製モード	パソコンのモニター表示画面と同じ画面を、２台目のディスプレイ（本機）に表示させる機能です。
ルーメン （単位：lm）/ ANSIルーメン	プロジェクターの明るさを示す指標です。 ANSI ルーメンは、米国国家規格協会が定めた条件に基づいて算出される、プロジェクターの光源の発する光束の単位です。

仕様

使 用 環 境		温度 5 ℃～ 35 ℃　　湿度 20 %～ 80 %（結露なきこと）
保 存 環 境		温度 −10 ℃～ 50 ℃　湿度 20 %～ 80 %（結露なきこと）
本体外形寸法		102（幅）×60（奥行き）×22（高さ） mm
本 体 質 量		約 110 g
電 源		USB バスパワー：専用 USB ケーブル（付属）
消 費 電 力		9 W（最大）/ 1.5 W（スタンバイ時）
対応インターフェース		USB2.0（USB1.1/3.0-B タイプポートでは動作保証できません）
専用 USB ケーブル		ケーブルの長さ：約 0.65 m（コネクター部を含む） 質　量　　：約 67 g
DLP チップ		素子サイズ：0.3 インチ 表示方式　：DLP® 方式　チップ 1 枚
アスペクト比		16：9
解 像 度（DLP）		WVGA（854×480）
明 る さ		三段階切換 高（50 ルーメン）/ 中（40 ルーメン）/ 低（25 ルーメン）
コントラスト比		1000：1
投 影 角 度		オフセット 100 %
投影サイズ / 投影距離		10 ～ 60 インチ / 0.37 ～ 2.22 m
設 置 形 態		水平使用、スタンド使用、三脚使用
DirectX	Windows XP	DirectDraw
	Windows 7*1	DirectX11, 10, 9, DXVA, DirectDraw, Direct3D/OpenGL/GDI+

※ 製品の定格およびデザインは、改善などのため、予告なく変更する場合があります。
本機は BD（BDMV）などの高精細映像伝送に使用されている、HDCP（HDMI などに使用されています）などの著作権保護機能には対応していません。

*1 DirectX のタイプによっては、投影表示モードに制限がでる場合があります。
Full Screen では投影できない場合があります。

本機が対応可能なパソコンの表示解像度

表示解像度	拡張表示モード	複製表示モード	本機のみ
1366 × 768	○	○	○
1360 × 768	−	○	−
1280 × 800	○	○	○
1280 × 768	−	○	−
1280 × 720	○	○	○
1280 × 600	−	○	−
1024 × 768	○	○	○
800 × 600	○	○	○
854 × 480	○	−	○
640 × 480	−	○	−

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理 などは…

■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

お買い求め先（販売店名）

電話　　（　　）　　－

お買い上げ日　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは

「故障かな !? と思ったら（38 ～ 41 ページ）」でご確認のあと、直らないときは、まず USB ケーブルを抜いて、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	小型ビューアー
●品　番	PJ-SJ25U
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って修理いたします。

保証期間 ： お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料　診断・修理・調整・点検などの費用

部品代　部品および補助材料代

出張料　技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 5年

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後5年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

さくいん

— アルファベット順 —

B

BDMV 45

C

CD-ROM 9
CPU 45

D

Direct3D ..... 45、48
DirectDraw ..... 45、48
DirectX ..... 45、48
DisplayLink Graphics Adapter Driver 16
DLP ..... 45、48
DVD-Video 45
DXVA 45

F

FLIP（投影反転ボタン） ..... 12、27
FOCUS（フォーカスレバー） ..... 12、27

G

GPU 46

H

HDCP 46
HDMI 46

I

I/F（インターフェースカバー） 13

O

OpenGL 46

U

USB 46
USB2.0 46
USB3.0 ..... 16、46
USB3.0 バルーン表示停止ツール ..... 16、23
USB3.0 用ツール ..... 16、23
USB ケーブル ..... 9、25
USB コネクター 13
USB バスパワー 46

— 五十音順 —

あ

明るさ調整ボタン..... 12、26
アスペクト比..... 47、48
アフターサービス..... 49
インジケーター機能..... 28
インターフェースカバー[I/F].... 13
お手入れ..... 37

か

解像度..... 33、47、48
拡張モード..... 30、47
吸気孔..... 12
高温保護(サーマルダウン)
　動作状態..... 29
光量低下動作状態..... 29
コントラスト比..... 47、48

さ

三脚取付部..... 13
三脚用スペーサー..... 9、11
仕様..... 48
使用許諾書..... 6
スタンド..... 13
スタンバイモード..... 26
ストラップ取付部..... 13
スリープ状態..... 12、28
接続..... 25
セットアップ..... 17

た

対応パソコン環境..... 8
ディスプレイ
　ドライバーソフト..... 16、19
電源ボタン..... 12、26
投影サイズ..... 11
投影反転ボタン[FLIP]..... 12、27
投影モード..... 27
投影レンズ..... 12

は

排気孔..... 12、13
バスパワー供給不足状態..... 28
表示モード..... 30
フォーカスレバー[FOCUS]
　..... 12、27
複製モード..... 30、47

ま

メニュー画面..... 17

ら

ルーメン..... 47

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へ
ご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル 0120-878-410（パナハヨイワ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付：9時～17時30分
（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは **http://panasonic.biz/it/micro_viewer/**

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

この製品は日本国内用です。日本国外での使用に対するサービスは致しかねます。
This product is designed for use in Japan. Panasonic does not take any service of this product using in other countries.
此产品僅供日本国内使用。在日本国外使用时将不提供售后服务。

パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社
製造元：パナソニック プレシジョンデバイス株式会社
〒865-0193　熊本県玉名郡和水町（なごみまち）高野1080

© Panasonic Precision Devices Co., Ltd. 2012

S0812M1082